

物件目録

1. 被告製品

別紙図面に示し、下記構成を有するジョークラッシャの部品である不動歯

2. 図面の簡単な説明

第1図は被告製品の斜視図、第2図は被告製品をジョークラッシャに取り付けた状態を示す縦断面図、第3図はジョークラッシャの不動歯側を示す説明図、第4図はジョークラッシャの不動歯側に不動歯を固定する前の状態を示す説明図、第5図はジョークラッシャの不動歯側に不動歯を固定した状態を示す説明図である。

3. 符号の説明

- A ジョークラッシャ
- a 上下突出縁間の距離
- b 固定板の上面板の上端と固定板の下端間の距離
- H 切欠部の傾斜面の高さ
- 1 フレーム
- 2 動歯部
- 3 不動歯部
- 4 歯板
- 1 0 軸受
- 1 1 固定板（フレームの内端面）
- 1 1 a 内端面
- 1 1 b 上面板
- 1 2 偏心軸
- 2 0 動歯

- 2 1 スイングジョー
- 3 0 不動歯
- 3 1 上部突出縁（突出縁）
- 3 1 a 上部突出縁の内面
- 3 2 下部突出縁（突出縁）
- 3 2 a 下部突出縁の内面
- 3 3 切欠部
- 3 3 a 切欠部の傾斜面
- 3 4 コッター（クサビ状締付片）
- 3 4 a 傾斜面
- 3 4 b ボルト
- 3 4 c ナット
- 3 5 スプリング

4. 被告製品の構造

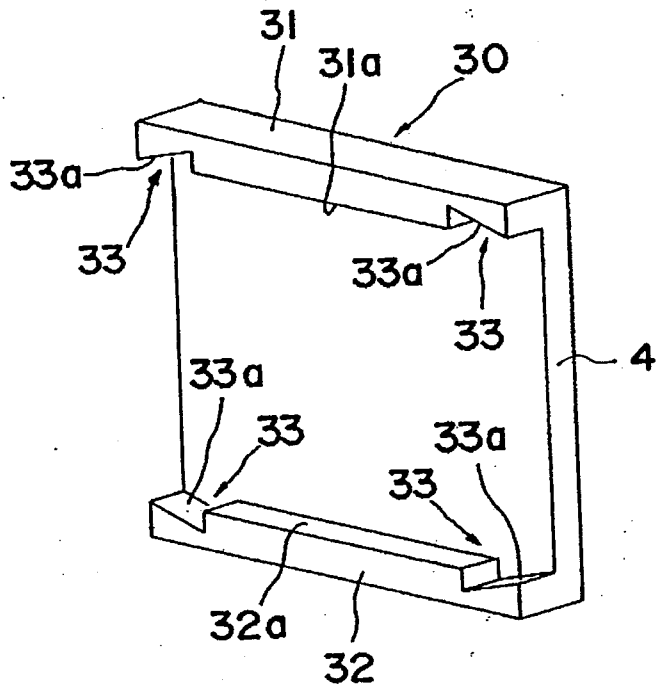
- イ. 歯板 4 の裏面側上端および下端に沿って突出縁 3 1, 3 2 が設けられ、両突出縁 3 1, 3 2 の内面側同士 3 1 a, 3 2 a の間隔がフレーム 1 の内端面上下幅より適宜広く形成されると共に
- ロ. 前記突出縁 3 1, 3 2 の内面側両端部であって歯板 4 の両側方に向け高さが低くなる傾斜状切欠部 3 3, 3 3 が設けられている
- ハ. 不動歯 3 0

5. 被告製品の作用

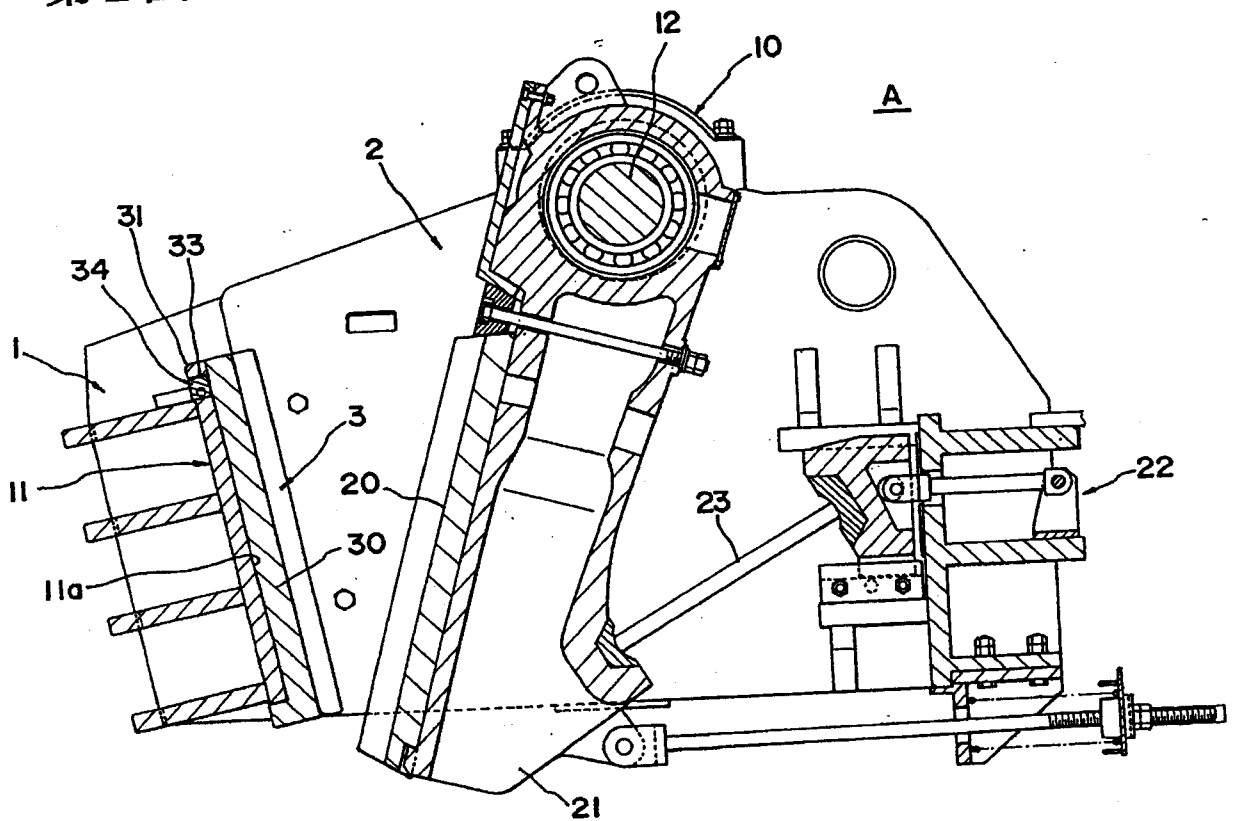
まず、ナット 3 4 c を緩めて左右のコッター 3 4、3 4 を固定板 1 1 の中央寄り位置に配置した後、不動歯 3 0 を固定板 1 1 の前面に挿入し、上部突出縁 3 1 と下部突出縁 3 2 との間で該固定板 1 1 を覆うようにして不動歯 3 0 の裏面側を内端面 1 1 a に面合させると共に、上部突出縁 3 1 の内面 3 1 a を固定板 1 1 上の上面板 1 1 b に載置させる。このとき、コッ

ター 3 4、3 4 は、切欠部 3 3 内における傾斜面 3 3 a の高い位置に配置され、下部突出縁 3 2 の内面 3 2 a と固定板 1 1 の下端との間には 1 0 m m 程度のギャップが生じた状態となっている。次に、フレーム 1 の外側に設けたナット 3 4 c、3 4 c を均等に締付けてゆくと、左右のコッター 3 4、3 4 は、それぞれスプリング 3 5、3 5 に抗して左右のフレーム側に移動する。コッター 3 4 がそれぞれ所定位置まで移動すると、その傾斜面 3 4 a が切欠部 3 3 の傾斜面 3 3 a と当接し、移動する距離に比例して不動歯 3 0 を押し上げる。この不動歯 3 0 の上方移動によって下部突出縁 3 2 の内面 3 2 a が固定板 1 1 の下端に係止するから、引続きナット 3 4 c を適宜トルクで締付けることにより、コッター 3 4 をそれぞれ固定板 1 1 と切欠部 3 3 の傾斜面 3 3 a との間に圧入させ不動歯 3 0 を固定板 1 1 に強固に固定することができる。

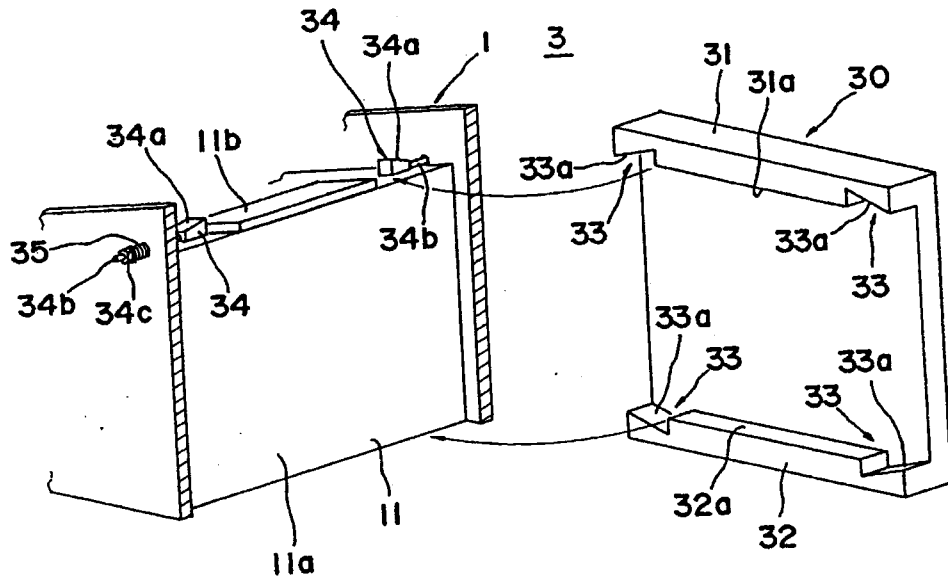
第1図



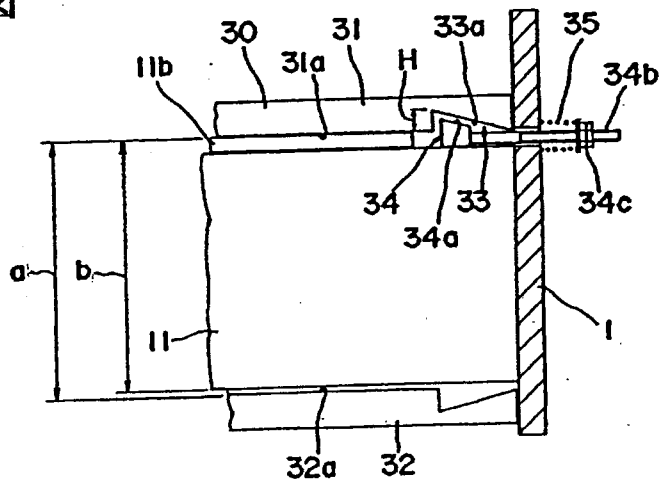
第2図



第3图



第4图



第5图

